

芸術の森地区町内会連合会

広報 やませみ

創刊号

平成7年6月15日

発行 芸術の森地区町内会連合会
印刷 (株) 辻 孔 版 社

芸術の森地区町内会連合会発足!! 名に恥ない近代的町連の創造

芸術の森地区区会館落成 自然・文化・福祉の拠点

二月十三日、芸術の森地区区会館が落成し、所長以下三名の職員と管理人が着任し翌二月十四日より業務を開始した。
四月一日、芸術の森地区町内会連合会の創立総会が開催され、石山地区連町より分離して芸術の森地区町内会連合会が発足し会長には佐々木佐一氏(見晴町内会長)が就任した。

石山、常盤、真駒内各地区の町内会によって組織され、地域づくりや、自治活動に貢献してきた石山地区町内会連合会が分離して、芸術の森地区町内会連合会が誕生した。

豊平川沿の石山方面と真駒内川沿の常盤、滝野方面は、近年団地開発等により急激に人口が増え、住民の生活要求が変化し生活環境の改善と、街づくりの焦点も異なってきた。

国道二三〇号線と国道四五三号線では道路交通事情が異なり地域事情を反映した交通政策が必要となっている。

更に、芸術の森、滝野すずらん丘陵公園、支笏湖を擁する、当地域と、定山溪、中山峠と連なる石山地区とは、景観が

大きく異なり、必然的に住民の要望も異なってくる。

変化に対応し、地域に密着した自治活動を展開するために連合町内会分離の声が高まり、今回町内会が実現した。

芸術の森地区連町の活動拠点である地区区会館落成記念式典で、桂市長は、「文化と芸術そして自然に恵まれ、国際的な芸術文化の情報発信基地にふさわしい、芸術の森地区町内会連合会の活動に期待するものが大きい」と述べられた。当地域がこれを契機として、誇り高く、国際的にも評価される地域づくりに励むことを切望する。

佐々木佐一氏 会長に就任

芸術の森地区町内会連合会の創立総会で佐々木佐一氏が会長に選出された。

佐々木氏は石山地区連町副会長、支笏湖沿線町内会協議会の会長として連町の分離独立に貢

献されたことから会長に選出された。

又、常盤一区町内会出身で石山連町の会長として活躍された東正治氏は連町の分離独立を機に引退された。

芸術の森地区区会館 オープン

二月十三日、芸術の森地区区会館の落成式典と祝賀会が開催された。

会館は札幌市が石山地区住民の善意と関係諸団体や篤志者の寄付を受けて建設したものである。

建設事業費の概算は一億六千九百三十拾万円で、一階床面積、一六八・四八平方メートル、二階、一八一・四四平方メートルで集会室三室、会議室、和室、厨房を備え、各種会議、サークル活動、講習会、冠婚葬祭等に利用することができ、会館運営委員会では、積極的な利用を期待している。

芸術の森では、ヤマセミをマスコットキャラクターとしたそうである。

祝 芸術の森地区町内会連合会の創立



札幌南区長 小林 敏美

札幌市を代表する文化・芸術ゾーンとして、内外に広く知られている

この地区に、新たに芸術の森地区町内会連合会が発足いたしましたことをご心から喜び申し上げます。六月一日に南区長として着任いたしました。皆様には、日頃から札幌市の行政、あるいは南区の街づくり事業につきまして、ご理解、ご協力をいただいておりますことを心からお礼申し上げますとともに、従前と変わらぬご支援をよろしく願います。

たします。

この地区は、北海道開拓を支えた製材、採石、農業等のために、早くから先人が入植され、苛烈な気候風土の中、不屈の精神で今日の繁栄を築かれた歴史が、今に息づく土地柄と伺っております。

豊かな自然を背景に、現在、約一万人の人々と二十四町内会をもつ素晴らしい住宅地として発展したのも佐々木町内会連合会長さんをはじめとする皆様の熱意と、たえない努力の賜物と存じます。

町内会連合会の発足を機といたしまして、更なるご発展をお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。

やませみ

☆三省堂刊の「大群林」を見ると、やませみは「ブッポウソウ目の鳥」全長一八cmほどの大型のカワセミ——略

総称、日本には、カワセミ、アカシヨウビン、ヤマセミなど数種がある……略……水辺にすみ、川魚、カエル、昆虫を食べる」とあり、ヤマセミはカワセミの一種である。

☆溪流、川岸、川魚、カエル、昆虫と並べると真駒内川の清流を想像する。ヤマセミは自然の象徴であるといえる。

飛ぶときは、珊瑚色の背が光り、ヤマセミは頭に長い羽冠をもち、美しい鳥で芸術的な輝きのする鳥である。

芸術の森では、ヤマセミをマスコットキャラクターとしたそうである。

☆芸術の森地区区会館落成記念誌にもヤマセミの写真とスケッチをのせてみた。空沼を源流とする真駒内川は一部改修により姿を変えているが、芸術の森附近には、人為が少ない溪流と川岸林が残っており、川岸の小径は幼い日を思い出させてくれる。

☆真駒内川の川魚を求めてヤマセミが訪れ、川岸で果つくりを始めることを願っている。この地を永住の地とした私達も一羽のヤマセミである。そこで広報を「やませみ」とした。

(高橋)

会則・事業計画・予算成立

四月一日午後一時より、芸術の森地区会館で「芸術の森地区町内会連合会」の創立総会が開催され、芸術地区連町(略称)が発足した。

創立総会に先立って、支笏湖沿線町内会協議会の解散総会が開催された。

解散総会は佐々木佐一氏(協議会長)を議長に、収支決算と協議会の解散を議決し、短時間で終了した。

支笏湖沿線町内会協議会は、昭和五十八年十月に沿線町内会が抱えている諸問題(地下鉄南北線の延長、石山東小学校的の新設、常盤中学校の独立、真駒内川新道の建設、芸術の森の建設等々)を早期の解決を目的に結

成された。

平成二年からは、町内会連合会の分離独立を推進する原動力となってきた。したがって、芸術地区の創立によって、その使命を終え解散した。

支笏湖沿線町内会協議会の決算残金十万二千七八八円は芸術地区連合会に引き継ぐことで、満場一致で決算と解散が承認され総会は終了した。

続いて、中野務氏(常盤一区町内会長)を議長にして、芸術の森地区町内会連合会の創立総会が開催された。

創立準備委員会総務担当伊藤正氏(滝野町内会長)が芸術の森地区町内会連合会会則及びそれぞれの事業計画を提案し一部

を修正して承認された。

続いて定池教章総務担当(常盤台町内会長)より、芸術の森地区町内会連合会及び芸術の森地区会館運営委員会の予算案が上程され、原案通り承認、新役員を選出し、十五時三十分全議事を承認して終了した。

十六時より芸術の森地区町内会創立祝賀会が開催された。

祝賀会では、佐々木新会長が芸術の森にふさわしい地域づくりの決意を述べ、入江南区長、東石山地区連町会長の祝辞があり、新連町創立の喜びと新しい地域づくりの夢を語り合い、十九時に祝賀会を終了した。

役員紹介

☆芸術の森地区町内会連合会の役員が四月一日の創立総会で決定した。

会長、佐々木佐一(見晴)、副会長、星重男(石東)、柳引清和(真駒内駒岡)、伊藤正(滝野)、監事、今田三雄(真駒内三団)、佐々木鉄良(常盤二区)

☆創立総会後の芸術の森地区会館運営委員会で役員が決定した。

委員長、星重男、副委員長、佐々木佐一、館岡武治、総務、伊藤正、会計、定池教章、監査、今田三雄、佐々木鉄良

連絡所が業務開始

札幌市南区芸術の森地区連絡所が二月十四日より業務を開始した。諸証明の発行や簡易な行政相談を扱うので利用されたい。

街づくり・街づくりと過ごしてまいりました十余年、皆さんのお力添えのお陰でその緒に着くことができました。



夢を抱き、胸膨らませて

会長 佐々木 佐一

ろでと考えておりましたが、四月一日誕生いたしました芸術の森地区町内会連合会を軌道に乗せるための使命をお引

様の御指導をお願い申し上げます。この地区は芸術文化都市さっぽろのシンボルである。

であり、今後の街づくりの事業の推進の根幹とするべきであり、我々この地区に住まいするものとして常に念頭に於いて、街づくり事業に精励致し度いものであります。

老いも若きもこぞって明日に向かって大きく夢を抱き、胸膨らませて一歩一歩着実にまい進しようではありませんか。

さやかれるとき、その中核と成つての街づくりが今後々と展開されて参ります。この一区切りの付いたとこ

き受けする事となりました。今までの皆様の温かい御助力を頼りに、与えられた任期を務めて参りますので、従来同

二、街づくりの根源は必要の創造にある。以上のことは、桂市長様及び街づくり懇談会での御教示

て一歩一歩着実にまい進しようではありませんか。

芸術の森地区会館使用料及び運営維持費

(単位: 円)

区分	午前	午後	夜間	終日
一階				
集会室	950 (500)	1,150 (500)	1,350 (500)	2,800 (1,500)
会議室	950 (500)	1,150 (500)	1,350 (500)	2,800 (1,500)
二階				
和室	900 (500)	1,100 (500)	1,300 (500)	2,600 (1,500)
大ホール	3,300 (2,000)	4,200 (2,000)	4,900 (2,000)	10,000 (6,000)
Aホール	1,850 (1,000)	2,350 (1,000)	2,700 (1,000)	5,800 (3,000)
Bホール	1,850 (1,000)	2,350 (1,000)	2,700 (1,000)	5,800 (3,000)

※()内は暖房料金 ※使用料は免除される場合があります。 ※冬期間の暖房使用期間は、11月1日から翌年3月31日までとする。ただし、期間外の暖房使用の際は、使用料を徴収する。

職員三名と管理人が配置されている。

☆所長

●氏名 大木 章敬
出身 札幌市
前職 (豊)国保年金課長

●氏名 大木 章敬

●氏名 大木 章敬

☆職員
●氏名 阿良 真一
出身 十勝
前職 簾舞連絡所
●氏名 北川 睦美
出身 興部
前職 定山溪出張所
●氏名 北川 睦美
趣味 読書

●氏名 阿良 真一

●氏名 北川 睦美

●氏名 北川 睦美

●氏名 北川 睦美



洪谷瑠美子



北川 睦美



阿良 真一

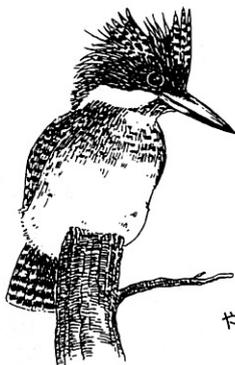


大木 章敬

平成7年度 芸術の森地区町内会連合会予算

Table with 3 columns: 科目, 予算額, 説明. Includes sections for 収入 (Revenue) and 支出 (Expenditure).

Table with 3 columns: 科目, 予算額, 説明. Continuation of the budget breakdown, including specific activity costs and personnel expenses.



やませみ

※会則は次号に掲載いたします。

平成7年度芸術の森地区町内会連合会事業計画

Large table containing departmental activity plans for 総務部 (General Affairs), 文化体育部 (Culture & Sports), 防犯防火部 (Crime Prevention & Fire Safety), 交通安全部 (Traffic Safety), 保健環境部 (Health & Environment), and 女性部 (Women's Affairs). Each department lists key activities, dates, and objectives.

福祉協議会を設立 会長に櫛引氏

芸術の森地区町内会連合会が石山地区より分離独立したことにもなっており、社会福祉協議会も分離独立して、地域に密着した福祉活動を展開すべきであるとの考えから、芸術の森地区社会福祉協議会の創立総会が開催された。

三月二十七日十七時より芸術の森地区会館で開催された創立総会は、会則、事業計画、予算案、を原案通り議決し櫛引会長以下の役員(別掲)を選出して終了した。協議会は次により結成される。

- (1)町内会、自治会、女性団体、体育団体、文化団体、商店会等の団体、(2)民生児童委員、保護司、福祉施設等の福祉関係者、(3)障害者団体、母子父子団体、老人クラブ、及びこれらに類する団体、(4)青少年育成委員、医師、薬剤師、保健衛生関係者及びその関係団体、(5)社会福祉に関する学識経験者、(6)その他本会の目的に賛同し、総会で認められたもの。

福祉協議会役員決定

芸術の森地区社会福祉協議会の役員が次のとおり決定した。
◎会長 櫛引清和、◎副会長 佐々木佐一、安藤晃、中西金作、二俣とみ子、◎常任理事、館岡武治、高橋稀一、伊藤正、星重男、八木隆清、定池教章、古内彰、古郡弦、高正治、◎監査、亀谷芳夫、阿良次信、◎理事二十三名

体育振興会

二組織となる

芸術の森地区体育振興会が常盤体育振興会と芸術の森地区体育振興会の二組織となった。常盤地区体育振興会(会長古内彰氏)常盤地区で活動し、運動会、ソフトボール大会、スノーフェスティバル等を開催し、住民の体育振興に貢献していたが、芸術の森地区町内会連合会の創立にもない、石山東、石山八区見晴、真駒内駒岡、駒岡団地の五町内会地区に芸術の森地区体育振興会(会長佐藤優司氏)が結成された。

委員長 星氏 会館運営委員会発足

芸森地区連町の創立と会館の落成にあわせて、会館運営委員会(委員長星重男氏)が発足した。委員会は、会館の管理と運営の任務を担い、そのために会館運営規程を定めて、建物の保全、什器、備品の管理及び使用料の徴収を担当する。

芸術の森地区会館運営規程(抜)
第六条、誰人も会館を整理し整頓に留意し他人に不快感を与えてはならない。

福祉の充実をめざして

会長 櫛引 清和

地域での福祉活動を進めるには、福祉の専門機能、専門職を有する社会福祉施設との連携、強化が求められております。

芸術の森地区社会福祉協議会においても福祉活動を強化し在宅高齢者、障害者、との共生をめざして地域住民、関係機関、団体等の連携ことに住民の皆様が関心をもち参加することが大切であると思わ



れます。
今私達は、高齢社会を目前

に控え、人々が充実し安定した生活を過ごせるように新し

地下鉄延長を陳情

芸森地区町内会連合会では、地下鉄の延長へ(当面一駅石山陸橋付近まで)を市長に要請した。

地域人口の増加及び芸術の森市立高等専門学校、滝野すずらん丘陵公園整備による交通量の増加と国際都市札幌を代表する

芸術の森への交通機関の整備充実の観点から地下鉄の一駅延長を陳情した。

交番設置を陳情

バス停の増設を要請

芸森連町では、地区会館利用者のために、会館前にバス停を増設するよう路線バス協会と中央バス(株)に要請した。

い社会福祉の方向性が求められていきます。そして、住み心地の良い家庭や地域社会を望み、自立した生活を営むことが出来るか、高齢者や障害者をはじめ住民の抱えるニーズに対応した福祉や保健医療、訪問指導など必要なサービスを形成していかねばなりません。

地域での支援や援助を展開して行く為には、地域住民やボランティアの人達との連携が必要となってきますので、私達の新しい芸術の森地区社会福祉協議会発展の為、皆様のお力を是非おかし下さい。

芸森広場

☆芸術の森地区町内会連合会(略称、芸森連町)の広報紙「やませみ」創刊号をお届けする。

☆芸森連町の創立や関係諸団体の設置についての記事が中心で固苦しいものとなったことをおわびする。

☆次号からは装を改めてお届けする予定である。各面がそれぞれに特色をもち、読者が楽しめるものにしたと考えている。

☆総務部の担当となり、不適任ながら、芸森連町の会則や、関係団体の会則、更に、事業計画予算等を作成し、総会で成立させることに従事し、峠を越したが極めて多忙であった。

☆これらには不備な点や、不十分な点が多いと思う。今後ゆっくりと見直しを修正していきたい。お気付きの点をお知らせいただきたい。

(担当) 伊藤、定池、高橋

親しまれる会館に

委員長 星 重男



あの感動的な落成式典を挙げてから、思い出されるの

は、使い易さをモットーに、私達が設計に何度も修正を加え、要望通りで上がった会館の喜びでした。それだけにその会館の運営を任せられた時は決意を新たにしたのであります。地域の皆様方に利用して頂けるのだろうかという心配もありましたが、開館して間もなく、常盤ヨガサークルが

毎週定期的に使用していただいたのを始め、学生による歴史研究会に、幼稚園、小・中学校の母さん方による茶話会に、また、葬儀にも使用していただいております。今後町民の活動場、いこいの場として多くの方々に努力して参りますが、老若男女を問わず皆様から本当に愛される会館にしたいものだと考えております。